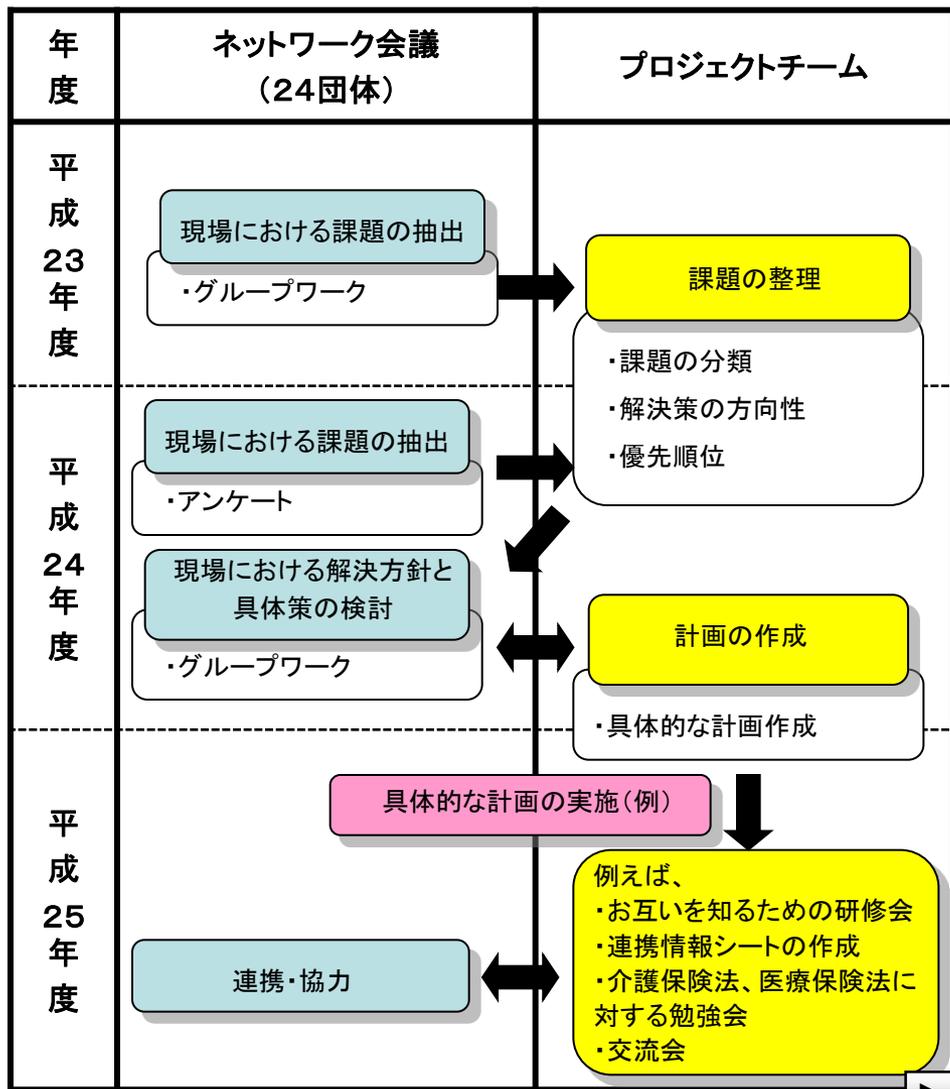




宮崎市医療と介護の連携プロジェクト

地域包括ケアの一環として、医療・介護サービスが連携して高齢者の在宅生活を支援する体制を構築することを目的に、地域包括支援センター・医療と介護の関係団体・行政協働によるプロジェクトチームにて、連携における課題を整理し、その解決策と具体策の検討を行い、「宮崎市医療と介護の連携ネットワーク会議」と協力・連携し取り組んでいく。





(都道府県名を記入)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例 (様式)

①市区町村名	宮崎市
②人口 (※1)	403,027 人 (平成 25 年 4 月 1 日現在) ()
③高齢化率 (※1) (65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載)	65 歳以上 22.77% () 75 歳以上 11.45%
④取組の概要	地域包括ケアの一環として、医療・介護サービスが連携して高齢者の在宅生活を支援する体制を構築することを目的に、地域包括支援センター・医療と介護の関係団体・行政協働によるプロジェクトチームにて、連携における課題を整理し、その解決策と具体策の検討を行い、「宮崎市医療と介護の連携ネットワーク会議」と協力・連携し取り組んでいく。
⑤取組の特徴	行政はプロジェクトチームの一員として加わり、行政主体ではなく協働という形で取り組んでいる。
⑥開始年度	平成 20 年度
⑦取組のこれまでの経緯	関係機関へのアンケートやグループワーク等をもとに医療と介護の連携における現状の把握を行い、そこから課題抽出を図った。 その後、地域包括支援センターと行政の職員協働で「医療と介護の連携プロジェクトチーム」を結成し、課題解決に向け部会をつくり、取り組みを本格化させた。以降、研修会の実施、リーフレット作成等を具体的な取り組みとして行っている。また、今年度より関係団体もプロジェクトチームに加わることとなった。
⑧主な利用者と人数	・医療と介護の連携ネットワーク会議参加団体 24 団体 ・宮崎市地域包括支援センター 19 か所 ・宮崎市 福祉部 長寿支援課
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	地域包括支援センター・医療と介護の関係団体・行政の職員協働
⑩市区町村の関与 (支援等) (※2)	プロジェクトチームの一員
⑪国・都道府県の関与 (支援等) (※3)	特になし
⑫取組の課題	高齢者を取り巻く関係機関及び多職種が、お互いに顔の見える関係をつくり、それぞれの役割や業務を理解し、連携を図る必要がある。
⑬今後の取組予定	・各職種紹介を兼ねた研修会の開催とパンフレットの作成 ・医療分野の専門的な研修会の開催 ・宮崎市医療と介護のネットワーク参加団体の連絡先、情報一覧の作成 ・包括圏内や地域単位での多職種交流会・ケア会議の開催 ・情報連携ツールの作成
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	宮崎市 福祉部 長寿支援課 包括支援係 (TEL) 0985-21-1773 (FAX) 0985-31-6337 (e-mail) 10chouju@city.miyazaki.miyazaki.jp

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
 ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
 ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



宮崎市 介護支援ボランティア制度事業

- 介護保険制度の第1号被保険者(65歳以上)の高齢者が、介護保険施設等でボランティア活動を行った場合にポイントを付与し、ポイントを現金に換金する。
- 平成24年10月から実施し、154人が登録・活動中。
- 宮崎市社会福祉協議会に委託

1. ボランティア登録を行う

対象者

65歳以上の方(ボランティア活動が可能な方に限る)



2. ボランティア活動を行う

活動場所

・市内の老人福祉施設等

活動内容

・話し相手、傾聴、朗読 ・レクリエーションの補助
・洗濯物の整理、清掃 ・活動に係わる講習や研修 等



ポイント

活動1時間につき 1ポイント (※1日2ポイントまで)

3. ポイントを現金に換金する

1ポイント=100円 ※年間5,000円上限

10ポイント以上から換金可能(介護保険料の未納が ◀▶ 不可)





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	宮崎市
②人口（※1）	403,027人 ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 22.77% () 75歳以上 11.45%
① 取組の概要	65歳以上の高齢者が介護保険施設等でボランティアを行った場合にポイントを付与し、ポイントに応じて現金を交付。 1時間の活動=1ポイント=100円 年間上限5,000円
⑤取組の特徴	高齢者と行政の双方で多くの効果が期待できる。 高齢者：健康増進、社会参加、生きがい創出など 行政：介護予防の推進による介護給付費の抑制。
⑥開始年度	平成24年10月
⑦取組のこれまでの経緯	平成21年から調査研究（稲城市、足立区へ視察）を重ね、平成24年度の介護保険料の改正に合わせ実施。
⑧主な利用者と人数	介護保険制度の第1号被保険者（65歳以上） 登録数：154人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：宮崎市 委託先：宮崎市社会福祉協議会
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	平成25年度委託料 3,636千円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	地域支援事業として実施
⑫取組の課題	ボランティア登録の推進。 本事業により得られた効果の測定が困難。
⑬今後の取組予定	ボランティア活動内容、受入施設の範囲拡大。 ポイントの活用方法（現金以外の選択肢の検討）
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	宮崎市役所 福祉部 長寿支援課 生きがい支援係 TEL(0985)21-1773 FAX(0985)31-6337

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

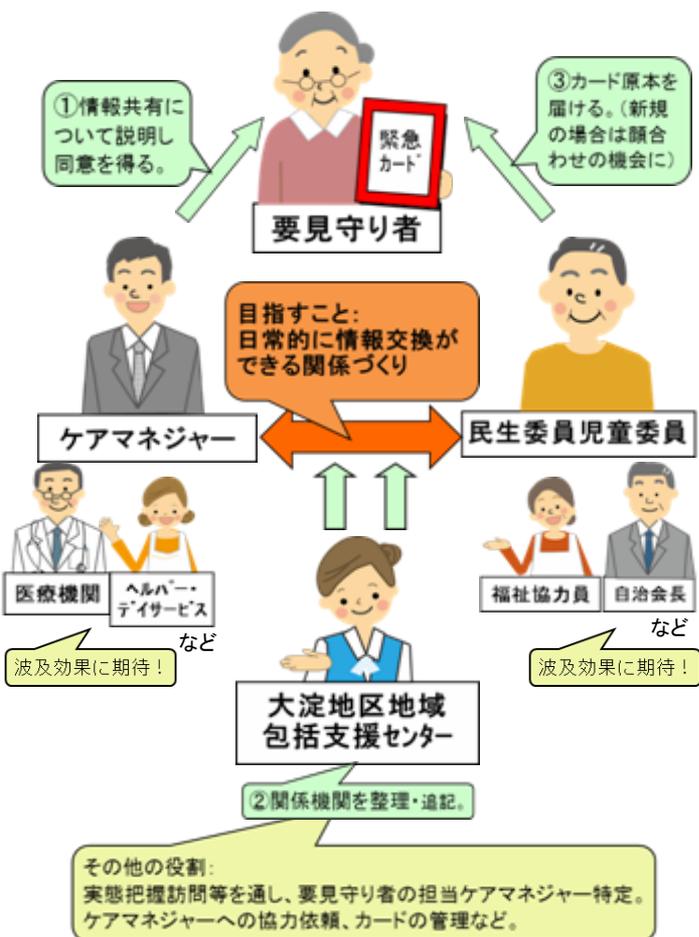
※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



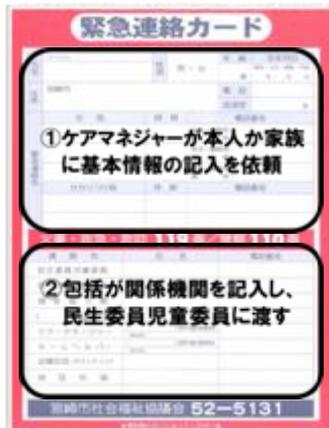
民生委員児童委員とケアマネジャーとの情報共有の取り組み(宮崎市大淀地区)

- 緊急連絡カードの活用により、見守りが必要な高齢者に関わる民生委員児童委員とケアマネジャーが日常的に情報交換ができる関係づくりを目指し、平成24年9月から地区を限定してモデル事業を展開。
- 両者がつながることでの波及効果が想定される地域団体等に呼びかけ、25年2月に地域ケア会議を開催。モデル事業の成果と課題を報告し、事業継続・拡大の承認を得た。25年度も活動継続中。



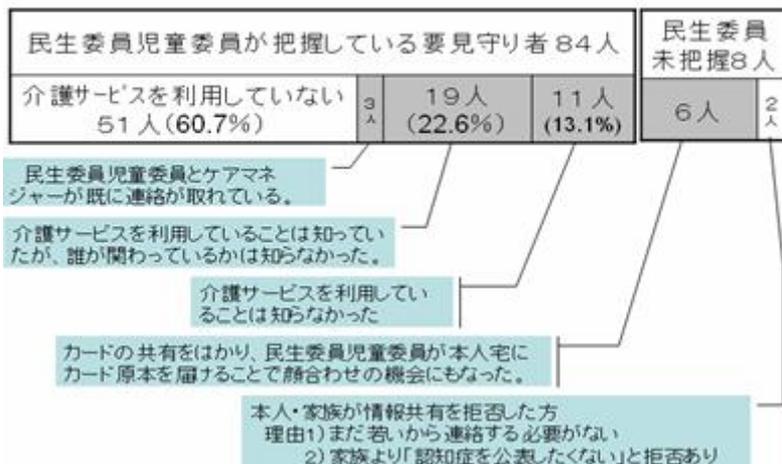
- 参加者(計33名)
- ・大淀地区民生委員児童委員協議会
 - ・大淀地区自治会連合会
 - ・大淀地区社会福祉協議会
 - ・さんさんクラブ大淀
 - ・大淀地域まちづくり推進委員会
 - ・宮崎市大淀地域事務所
 - ・宮崎市長寿支援課、地域保健課
 - ・宮崎市社会福祉協議会
 - ・大淀地区内居宅介護支援事業所(11カ所)
 - ・大淀地区内医療機関地域連携室(4カ所)

緊急連絡カード



- ③民生委員児童委員がカード原本を本人宅に届ける。
⇒三者でカードのコピーを保管

取り組み結果報告



⇒担当ケアマネジャーがいる39名のうち、入所・入院を除いた37名について情報共有ができた。